

# 憲法OBA MJ 連載の現在い ま

《 憲法問題特別委員会だより 》

第93回

## 「映画『憲法9条・国民投票』から考える」開催報告

憲法問題特別委員会 副委員長 大槻 和夫

1 2018年3月に政権与党である自由民主党により、憲法9条に関する改正案が取りまとめられた。この自民党9条改正案は、現行の憲法9条の文言には手をつけず、新たに自衛隊について定めた憲法9条の2を加えるという、いわゆる「加憲」の方式を取っているのが特徴である。具体的には、憲法9条の2は以下のような内容とされている。

### 憲法9条の2

- ① 前条（憲法9条）の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。
- ② 自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

そして、この改正案取りまとめに際しては、今回の憲法改正は憲法9条をそのままに、自衛隊の存在を書き加えるだけなので、従来の自衛隊合憲を前提とする政府解釈を前提とする限り、これまでと何らの変化も生じないと説明されている。

しかし、こうした説明に対しては、①この改正案により、日本国憲法の基本原理である恒久平和主義に何らかの影響があるのか、②平成26年閣議決定による憲法9条解釈変更で認められた集団的自衛権の行使の範囲に何らかの影響があるのか、③

戦力の保持を禁止する憲法9条2項と改正案の憲法9条の2・1項とは、どのような関係にあるのか、④改正案憲法9条の2のとおり自衛隊を憲法に明記した場合、他の行政各部との対比において自衛隊の地位に何らかの影響があるのか、⑤改正案憲法9条の2のとおり自衛隊を明記した場合、自衛隊に対する十分な統制の仕組みはどのようにあるべきか等々、様々な問題点が指摘されるところである。

2 そして、なにより、このような憲法9条改正案が国会で発議されれば、主権者たる国民は国民投票により改正の賛否を意思表示しなければならない。

その際に、国民はどのような点を考慮し、自分の意見を決めることになるのか。十分な討議と熟慮の機会は確保されるのか。

4月6日（土）午後1時30分から4時30分にわたり、大阪弁護士会館2階ホールで上映された映画「憲法9条・国民投票」は、一般から応募があった14名のメンバーが、護憲—自衛隊違憲説（1-A）、護憲—自衛隊合憲—個別的自衛権容認説（1-B）、改憲—「加憲」説（2-A）、改憲—9条2項削除説（2-B）、護憲的改憲説—個別的自衛権の範囲で自衛隊を明文化、9条削除説等々のそれぞれの立場から議論を取り交わすという内容であった。

議論の内容は多岐にわたったが、非武装を主張する説では外国から侵略されたときにどう対処す

大阪弁護士会  
 Osaka Bar Association since 1880

映画「憲法9条・国民投票」  
 から考える

平成31年4月6日(土)  
 13時30分～16時30分  
 (開場13時)  
 会場:大阪弁護士会 2階ホール  
 参加費無料  
 要事前申込

お申込みは、裏面をご覧ください。

主催 大阪弁護士会 共催 日本弁護士連合会(予定)

るのか、逆に自衛戦争を肯定する説では一度始めた戦争をどうやって終了させるのか、現在の憲法9条は国民に無抵抗を強要するものなので憲法9条は削除すべきだ、原発が多数設置されている日本が戦争を行うのは自殺行為、集団的自衛権はアメリカの戦争に巻き込まれるおそれがある、チベットや北朝鮮の例を見れば、現行の憲法9条は理想論等々のことが語られた。

参加メンバーは、立場を異にしつつもとても真剣で、互いに自分とは意見を異にする人の見解にも耳を傾け、実りのある議論が交わされていた。

議論終了後、議論前の意見を変えた者も少なからずあり、行われた議論の有効性を証明する結果となった。

近時、代議制と多数決によって構築される代議制デモクラシーを補完し、デモクラシーを活性化させるものとして、市民社会で様々な議論を行うことを推奨するいわゆる熟議デモクラシー（ある

いは討議デモクラシー）という提案がなされており、一部諸国では制度化もされている。上記映画での真摯な討論は、熟議デモクラシーの一例とも評価できよう。

3 映画上映後は、映画プロデューサーの今井一氏、映画出演者、憲法問題特別委員会の西委員長、中平副委員長によるパネルディスカッションが行われ、映画の感想、大阪弁護士会が出した国民投票法に関する意見書の内容の紹介、「ストロングマン」に憧れる今の若者の心情等々について、議論が交わされた。

4 この催しに参加した市民は216名に及び、終了後に回収したアンケートでも大変好評で、とりわけ、自分とちがう意見を聞いてよかったという回答が目立ち、催しの狙いは成功だったと評価できよう。